

ぼうこう又は直腸の機能障害の状態及び所見

[記入上の注意]

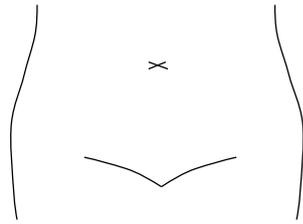
- 「ぼうこう機能障害」、「直腸機能障害」については、該当する障害についてのみ記載し、両方の障害を併せもつ場合には、それぞれについて記載すること。
- 1～3の各障害及び障害程度の等級の欄においては、該当する項目の□に✓を入れ、必要事項を記述すること。
- 障害認定の対象となるストマについては、排尿・排便のための機能をもち、永久的に造設されるものに限る。

1. ぼうこう機能障害

尿路変向(更)のストマ

(1) 種類・術式

- ① 種類
- | | |
|---------------------------------------|--------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 腎瘻 | <input type="checkbox"/> 腎盂瘻 |
| <input type="checkbox"/> 尿管瘻 | <input type="checkbox"/> ぼうこう瘻 |
| <input type="checkbox"/> 回腸(結腸)導管 | |
| <input type="checkbox"/> その他[_____] | |
- ② 術式 : [_____]
- ③ 手術日 : [_____ 年 _____ 月 _____ 日]



(ストマ及びびらんの部位等を図示)

(2) ストマにおける排尿処理の状態

- 長期にわたるストマ用装具の装着が困難な状態の有無について
- 有 (理由)
- 軽快の見込みのないストマ周辺の皮膚の著しいびらんがある(部位、大きさについて図示)
 - ストマの変形
 - 不適切な造設箇所
- 無

高度の排尿機能障害

(1) 原因

- 神経障害
- 先天性:[_____]
- (例:二分脊椎 等)
- 直腸の手術
- ・術式:[_____]
- ・手術日:[_____ 年 _____ 月 _____ 日]

- 自然排尿型代用ぼうこう
- ・術式:[_____]
- ・手術日:[_____ 年 _____ 月 _____ 日]

(2) 排尿機能障害の状態・対応

- カテーテルの常時留置
- 自己導尿の常時施行
- 完全尿失禁
- その他
- [_____]